

2008年10月27日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

「羽田辰男先生お別れ会」のお知らせ

本学客員教授の羽田辰男先生が10月7日、ご逝去されました。本学の学生に深い愛情と声援を送り続けていただいた羽田先生に感謝の思いを込めて、「お別れ会」を行います。本学は羽田先生から多額のご寄付を賜り、「羽田基金」を設立しました。羽田奨学金をはじめ、羽田文庫、羽田福祉賞、福祉機器の整備・充実などを通じて、福祉分野の教育にご尽力されました。また、「人権擁護委員会 岐阜県連会長」を20年以上の長期間にわたり務められ、人権擁護活動のまさに中心的存在でした。本学においても「人権」の尊さを若い学生たちに伝えていただき、多大な功績を残されました。このたびの悲報に接し、学生たちの悲しみはとて深く、先生の生前を偲び、あらためてこのような機会を設けました。

記

- 日時 2008年11月6日（木） 午後1時30分から午後2時
- 場所 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 関キャンパス グレースホール
(関市桐ヶ丘二丁目1番地)
- 参加者 中部学院大学短期大学部 専攻科21名 教職員
- 予定 開会の言葉
祈 禱
片桐多恵子学長の話
お礼の言葉（学生代表）
賛美歌
祈 禱
閉会のことば

- 羽田氏略歴 1958（昭和33）年、福岡地検検事になり、70年、岐阜地検検事を退官後、岐阜市に法律事務所を開設。県庁汚職事件など刑事事件の弁護士としてらつ腕を振るった。80年から26年間、人権擁護委員県連合会長を務め、人権擁護中部連盟会長、全国人権擁護委員連合会副会長も歴任。89（平成元）年、私財を投じて県人権擁護啓発機構を設立し、各界の著名人が寄稿する冊子「岐阜の人権」を毎年出版。人権大賞を贈呈するなど人権擁護、啓発活動に尽くした。中部学院大学に「羽田奨学金」「羽田文庫」を設け、福祉関係者の育成を支援した。2002（平成14）年、岐阜新聞大賞社会事業賞を受賞。

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 総務課（担当：桐山） TEL:0575-24-2211（関キャンパス）